

平成23年3月15日

## 入学検査問題作成に対する今後の対応

広島大学附属中・高等学校

校長 前田 健一

この度は、附属高等学校の入学検査問題について作成過程のチェック機能が不十分であったことから、ミスが発生し、受検生をはじめ、関係各位に大変ご迷惑をおかけしました。心からお詫び申し上げます。再びこのような事態が発生しないようにするために、以下のような対応策を講じ、改善に努めたいと考えております。

- (1) 入学検査問題の作成にあたっては、出題教科のみならず、問題作成委員会、および校長室による確認・点検を行っているが、その機能が十分働いているかどうかのチェックを改めて行う。今回のミスの発生原因と考えられる、データの差し替え等においては、元情報との照合・確認を確実に行うことにより、データの記載ミス等の再発防止に努める。特に、校長室校閲のあとに修正があった場合、報告することを徹底する。
- (2) 問題作成のスケジュールや時間配分を改善し、ゆとりをもって入学検査の問題作成と確認・点検にあたるように問題作成過程を見直し、ミス防止のためのチェック機能を強化する。
- (3) 改めて教職員に対して、入学検査の重大さを十分に認識させ、問題作成から実施までミスのないように注意喚起し、ミス防止に万全の策を講じる。